

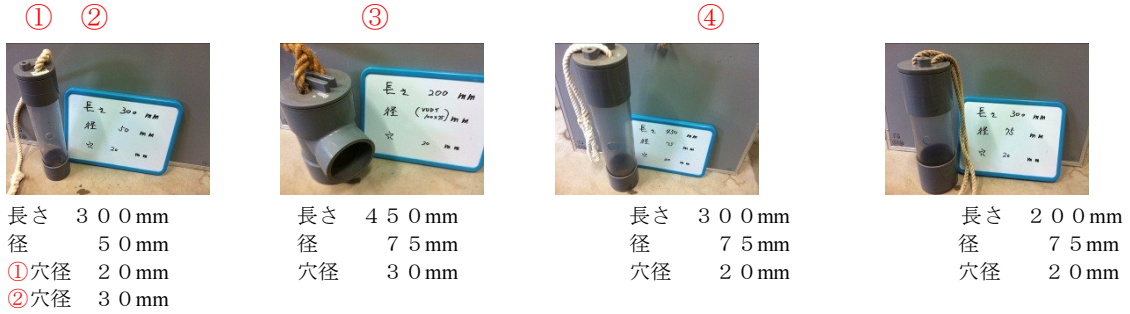
熊本市動植物園にて日常使用している塩ビ管フィーダーの活用報告

○穴見浩志・竹田正志・福原真治・池田智則・瀧本勉・本田公三（熊本市動植物園）
 鵜殿俊史・寺本研・野上悦子（京都大学野生動物研究センター熊本サントラ）

当園では、飼育しているチンパンジー5人の給餌において、通常の給餌方法に加え、メンテナンスが容易で清潔を保てる透明塩ビ管フィーダーを活用している。そのフィーダーと使用方法の紹介及びフィーダー使用による採食時間の変化、5人の関係性の採食時間への影響など若干の知見と今後の課題が見られたため報告する。

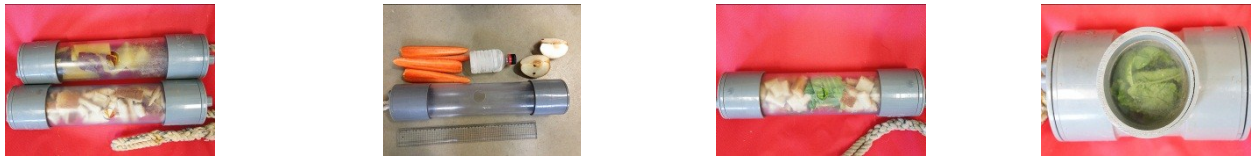
[フィーダーの紹介]

○種類



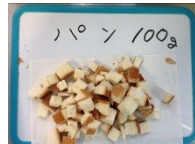
○さまざまな使用例

腐敗防止の氷・利用時間を延ばすために野菜を入れる・大きさの違う食材の組み合わせ・食材のカット・など

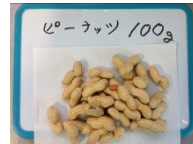


[方法]

フィーダーを用いずにパン100gとピーナッツ100gを置き餌とした場合（方法A）と、同種同量の餌を上記フィーダー①と⑤（各2個）に入れて部屋のホースに固定して用いた場合（方法B）との採食時間を比較した。



パンを20mm角にカットしたもの



殻付きピーナッツ

[結果]

<方法A>置き餌（パン100g×2箇所）（ピーナッツ100g×2箇所） 個体採食時間

個体名・性別・年齢	置き餌「パン100g」		置き餌「ピーナッツ100g」		合計時間
	1箇所	2箇所	1箇所	2箇所	
マルク・♂・33歳	0秒	1分05秒	2分16秒	0秒	3分21秒
ノゾミ・♀・35歳	2分07秒	0秒	0秒	0秒	2分07秒
カナエ・♀・34歳	0秒	3秒	0秒	9分11秒	9分14秒
ユウコ・♀・35歳	0秒	0秒	0秒	3秒	3秒
クッキー・♀・22歳	3秒	3秒	15秒	0秒	21秒

<方法B>フィーダー（パン100g×2個）（ピーナッツ100g×2個）1時間の個体採食合計時間

以下の2種のフィーダーを2個ずつ、合計4個設置後5人を入室し、使用時間を合計したもの。

個体名	①フィーダー「パン100g」		⑤フィーダー「ピーナッツ100g」		合計時間
	1箇所	2箇所	1箇所	2箇所	
マルク	0秒	4分16秒	14分15秒	0秒	18分31秒
ノゾミ	38分40秒	1分55秒	0秒	1分10秒	41分45秒
カナエ	0秒	0秒	0秒	3分20秒	3分20秒
ユウコ	0秒	11秒	0秒	0秒	11秒
クッキー	0秒	13秒	8分06秒	0秒	8分19秒

[考察]

今回の結果から、フィーダーを用いることによりカナエ以外の個体に採食時間の延長が見られた。カナエに関しては、置き餌の際、身体でピーナッツを覆い隠し確保した状態でゆっくり食べるため、フィーダーの利用時間が短くなったと考えられる。また、マルクとノゾミの採食時間が大幅に延長されたこと及び最も順位の低いクッキーで採食時間の延長が見られたことは、フィーダーの効果によるものと思われる。ただし、順位の低いユウコではわずかな延長しか見られなかったため、フィーダーの効果は少なかったと推察される。今後、すべての個体で採食時間の延長を促すために、フィーダーの穴や数、入れる食べ物の種類（個体の嗜好性など）、カットの仕方、移動可能なフィーダーの使用などを考慮しながら、更なる検討をしていきたい。

